

## 平成28年度 明ヶ原国有林外森林整備事業(伐採系・造林)の概要

### 1 国有林面積・部内の概要

- ・島根森林管理署管内 約29,000ha (官行造林約4,000haと合わせて約33,000haを管理)
- ・高津川流域(益田市・津和野町・吉賀町)約12,600ha  
担当区別(益田・日原 6,000ha 柿木 4,700ha 六日市 1,900ha)  
現在地: 島根県益田市美都町 明ヶ原国有林 321ha

古くは明治初期から官有林制度が始まり幾多の変遷を繰り返した後、大正13年から日原営林署の名称のもと国有林の管理運営等に携わってきましたが、平成11年の組織再編により島根森林管理署日原事務所となり、平成16年度末を持って事務所廃止となりました。(旧庁舎は昭和39年新築、現在津和野町役場第2庁舎として活用されています。)

### 2 事業内容

(1) 明ヶ原国有林外森林整備事業(伐採系・造林): 主伐(保護伐)及び植付作業

契約面積 14.01ha 素材生産数量 5,500m<sup>3</sup>

- ① 明ヶ原国有林1510は林小班(益田: 7.46ha 2,870m<sup>3</sup>) 4伐区設定 【システム販売】
- ② 中内谷国有林 507い林小班(日原: 6.55ha 2,630m<sup>3</sup>) 3伐区設定 【委託販売】

(2) 生産量 一般材 3,800m<sup>3</sup> (2,000m<sup>3</sup>システム販売・1,800m<sup>3</sup>委託販売) 低質材 1,700m<sup>3</sup>

一般材【システム: 益田原木市場 委託: 県森連益田共販所】 低質材【システム: 山陰丸和】

当事業地である明ヶ原国有林では、一般材を層積検知によるシステム販売(2,000m<sup>3</sup>)として実施しており、山元土場から協定相手方によるトラック運搬を実施しています。

なお、低質材(チップ及びバイオマス原料)についても協定によりシステム販売しています。

- ・一括発注(製品生産事業及び造林事業請負)
- ・一貫作業システム(コンテナ苗による主伐と再生林の組み合わせによるトータルコストの低減)

### 2 事業実行状況

① 明ヶ原国有林(全4伐区)

面積: 7.46ha  
生産量: 2,870m<sup>3</sup>

- ・生産数量(実績)  
一般材1,878m<sup>3</sup>  
低質材1,234m<sup>3</sup>  
計 3,112m<sup>3</sup>



② 中内谷国有林(全3伐区)

面積: 6.55ha  
生産量: 2,630m<sup>3</sup>

- ・生産数量(実績)  
一般材2,105m<sup>3</sup>  
低質材 977m<sup>3</sup>  
計 3,082m<sup>3</sup>

・生産数量合計: 6,194m<sup>3</sup>



明ヶ原②伐区  
(植付作業箇所)



ハーベスタによる造材

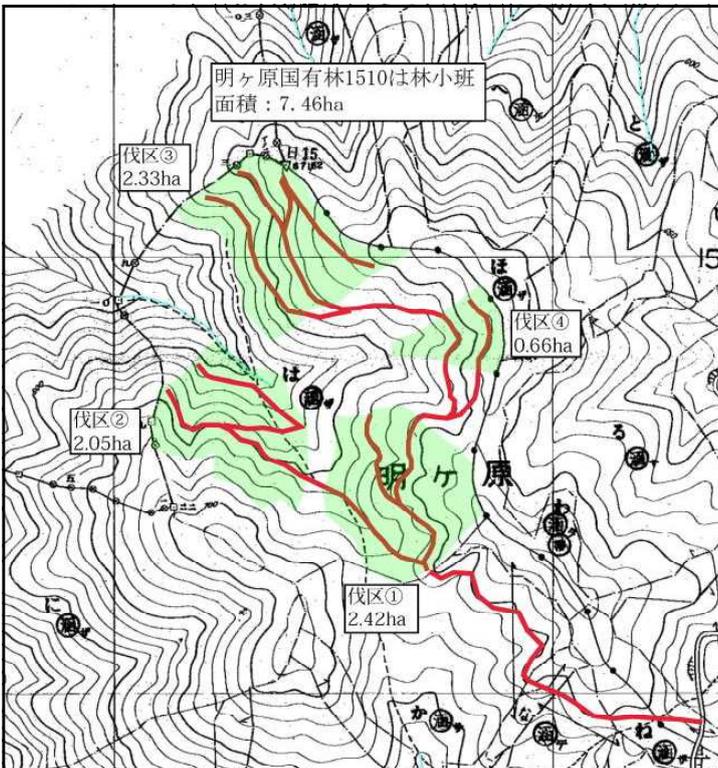
明ヶ原③伐区  
(伐倒・集造材作業箇所)



低質材(端尺材)の運材



森林作業道 作設位置図【明ヶ原国有林1510は】



フォワーダによる土場への運材



システム販売【トラック積み込み・運搬】



明ヶ原③伐区  
(伐倒・集造材) 作業中

フォワーダによる運材



作業道・枝条等整備



→



【苗木運搬】

↓



←



植付作業【コンテナ苗】

